

令和 8 年度 (2026 年度)

金沢大学法科大学院

入学試験問題

刑 法

C 日程入試

(注意)

1. 問題冊子 (表紙を含む) は 3 枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

## 令和8年度（2026年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	刑	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

### 問題1（各5点）

以下の語句あるいは概念を、具体例を示しつつ説明しなさい。

- (1) 過失犯における注意義務
- (2) 権利行使と恐喝

### 問題2（15点）

次の事例におけるXの罪責を論じなさい。ただし、特別法違反の点は論じる必要はない。

Xが営むA店は、風俗店ではないもののやや過激な制服を女性店員に着せていたため、A店で働く女性店員は皆長続きせず辞めていた。Xは、採用候補者の弱みを握れば辞めずに働き続けるだろうと考えた。

Xは、面接に来たB女にいきなりナイフを突きつけ、「殺されたくなかったら服を脱いで裸になれ。俺はお前の裸には興味はないが、お前が辞めないための保険だな」と告げた。Bは恐怖でXの言いなりになり、Xの前で服をすべて脱いで全裸になった。XはBの裸の写真をデジタルカメラで撮影し、「これでいい。初出勤は来週月曜だ。もし逃げたらこの写真をばらまくぞ」と告げてBを帰そうとした。

しかし、Bは帰り際に「全部録音してた。通報してやる」と叫んで走り去ったため、Xはこの際Bを殺害して口封じする必要があると考え、ナイフを持ってBを追いかけた。300メートル先の路上でBに迫り着いたXは、「このアマふざけやがって」などと叫びながら殺意をもってナイフでBの右脇腹を刺した。Bが泣きながら「ごめんなさい。もう逆らいません。命だけは助けてください」などと懇願したため、XはBが可哀そうになり、これ以上の行為を断念した。

この時点で、Bを病院に搬送し適切な医療を受けさせればBの救命は十分可

能であったが、放置するなどすればBに生命の危険が及ぶ可能性もあった。

Xは、Bをどのように助けたらいいかがわからなかったので、たまたま近くを歩いていたCに、「この子を病院に連れて行ってやってくれ。よろしく頼む」と言い残し、そのまま走り去った。BはCが呼んだ救急車で病院に搬送され、一命を取り留めた。

以上